

関連資料 (1)

海老名高校 環境各論と企業による環境出前授業 (エコプロ事前授業)

(期日) 平成26年11月14日 (金)

(時程) 13:25~14:15 (5校時) NACS各論 (各HR教室)

14:25~15:15 (6校時) 企業による環境出前授業 (各教室、特別教室等)

15:30~16:30 研究協議・情報交換会等 (2階会議室)

◆環境学習 (各論) と ◆企業による環境出前授業

担当	テーマ	授業の概要 (※提供された資料より作成させていただきました。)
NACS 会員 (10名) 各クラス1名 が担当。	持続可能な食生活を考えよう	世界の食料生産に依存する日本を実感し、日本の食材の間接エネルギーを生産の側から知り、さらに日本の 食品廃棄 の現状を消費の側から知る。 持続可能な「食」 の方向に向けて、 消費者・企業・行政の立場で解決策を考え、また消費者の役割を考える。

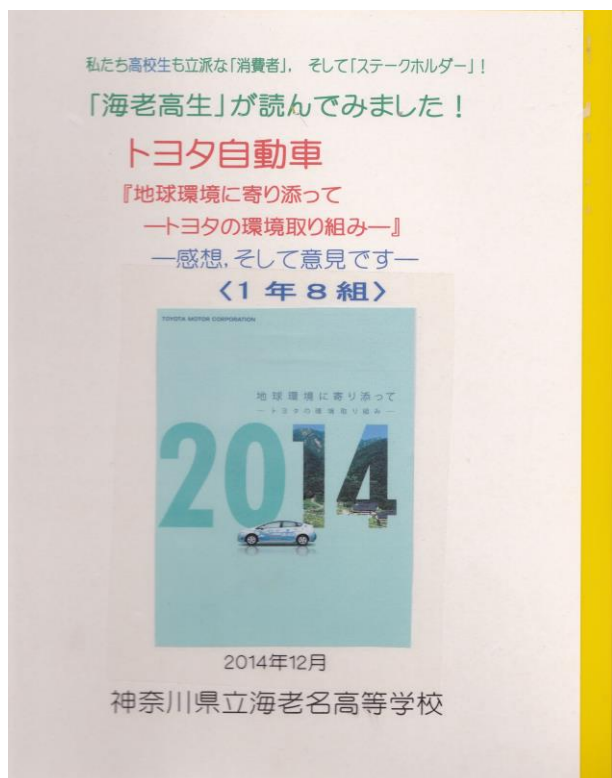
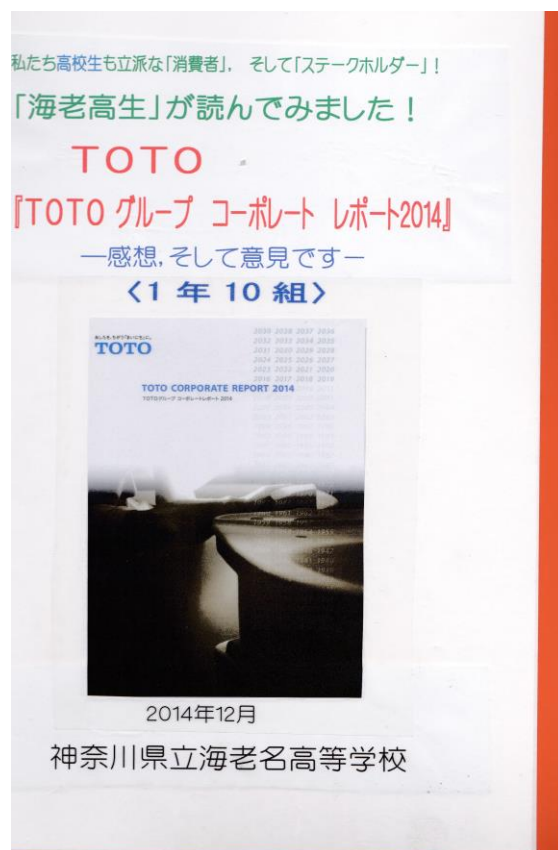
クラス	担当企業等	授業の概要 (※提供された資料より作成させていただきました。)
1 組	丸井グループ	「お客様と一緒に取組む本業を通じた社会貢献」をテーマに、CSR推進部の取り組みの紹介、また 循環型ファッション事業 の説明 (日本での衣料品のリサイクルや、日本人の足型等)、さらにまたナチュラルリビングの取り組みなどを紹介する。
2 組	イオン	「未来を変えるお買い物!」をテーマに、小売業の使命は未来へ持続可能であること。そしてCSV「共有価値の創造」や流通の仕組み、気候変動の影響、 フェアトレード、人と地球にやさしいオーガニック商品 について。
3 組	富士ゼロックス	環境負荷 をいかに減らすか!ということについて、・・・どうしたら「用紙」と「電力」の環境負荷を減らせるかについて考える授業。紙の使用量を減らすための対応や、コピー機のしくみと省エネの対応について。
4 組	J A全農	『田んぼと日本人へいかに関係が深いか』、田んぼの役割、その他多面的機能を知る。特に田んぼの生き物のことを知ろう。さらにまた、全農の SR (社会的責任) 活動としての「田んぼの生き物調査」を紹介する。
5 組	花 王	「生活と地球環境との調和」をめざすモノづくり」～洗剤をつくる会社のエコチェンジ～をテーマに、 地球温暖化、企業の環境配慮 への取り組み、さらに実験 (洗濯の流れ、界面活性剤の役割、新技術の内容) を実施。
6 組	東洋製罐	容器包装の環境配慮をテーマにした授業。容器の役割、 容器の3R (※ガラスびんによる実演)、容器 (PETボトル) の製造方法を紹介、PETボトルを例にリサイクルのフローおよびどのような製品にリサイクルされているか。
7 組	三菱電機	「熱の伝わり方」をテーマに、 環境への取り組み と実験授業を行う。また、ペア (二重) ガラス窓、ヒートパイプ、パソコンでのヒートパイプの活用、さらに「熱の伝わり方」の簡易実験授業 (ペットボトルの中で雲をつくる) 等を行う。
8 組	トヨタ自動車	会社創業の話から、 企業と環境問題 (環境問題の始まり、工場の周りの環境問題、人口の増加、森林減少など)、また開発設計と環境 (クルマのデザイン、解体・リサイクルしやすい設計)、さらに自然共生、ハイブリッドを軸に「 環境貢献 」など。
9 組	日清製粉グループ	環境配慮型製品の一つである「早ゆでパスタ」の開発経緯、 環境活動 に取組んだ動機について説明する。さらに、実際に早ゆでパスタを調理、試食をし、生徒に「 環境・おいしさ・省エネ 」が成り立つことを体感。
10 組	TOTO	環境への取り組み (グローバルビジョン) を紹介、さらにまた 環境配慮型製品 (水を大切に、温暖化を防ぐ、地域社会のため) について、そしてものづくり等における具体的な活動について紹介、消費者の役割について。

※表中の赤字部分は、「企業」学習に関連する授業内容に関するもので梶ヶ谷が表示しました。

※NACSとは、[公益社団法人] 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会です。

「エコプロ 2014」で展示発表した 「CSR報告書」の読後レポートの表紙

・・・10社中、4社分について

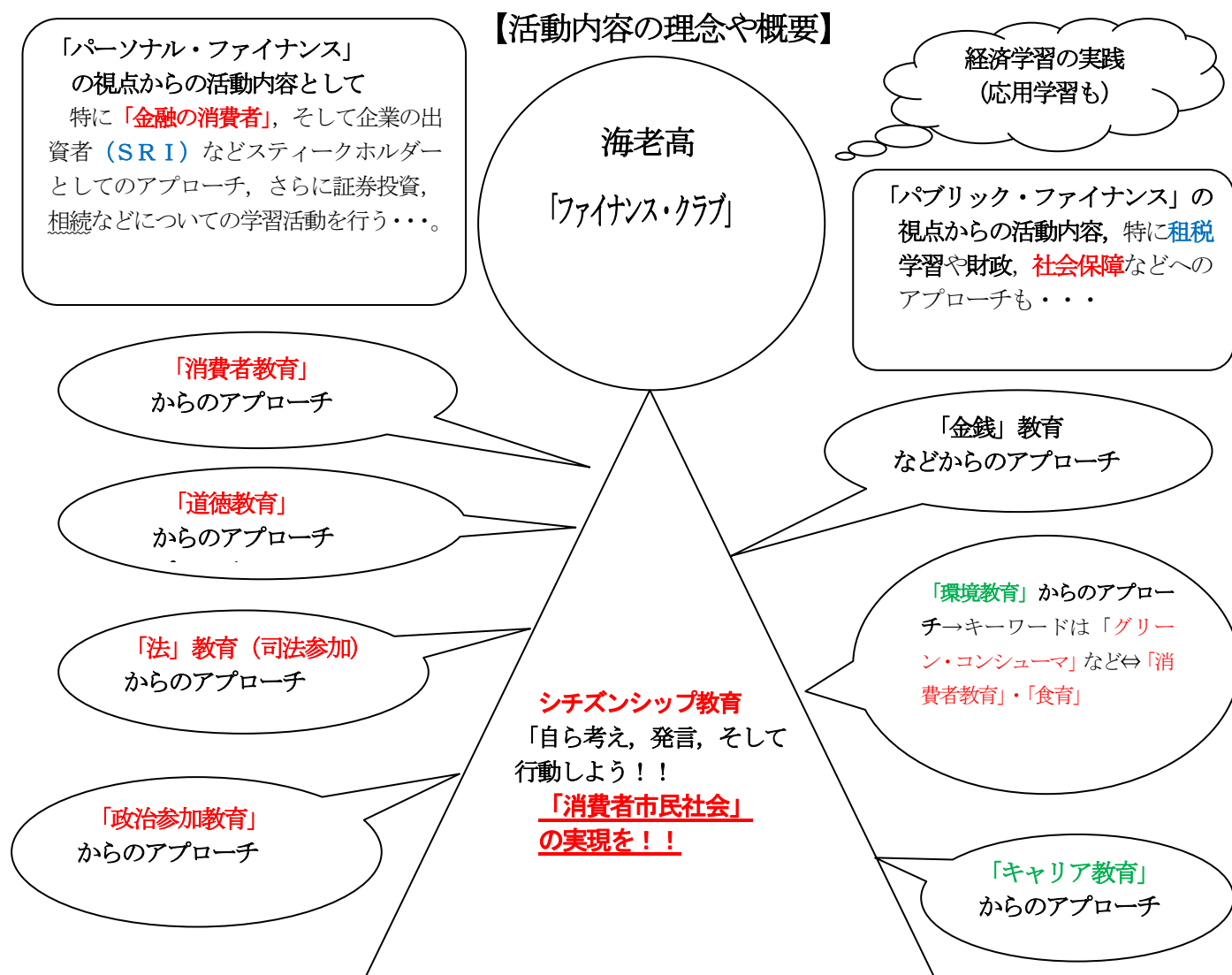


関連資料 (2)

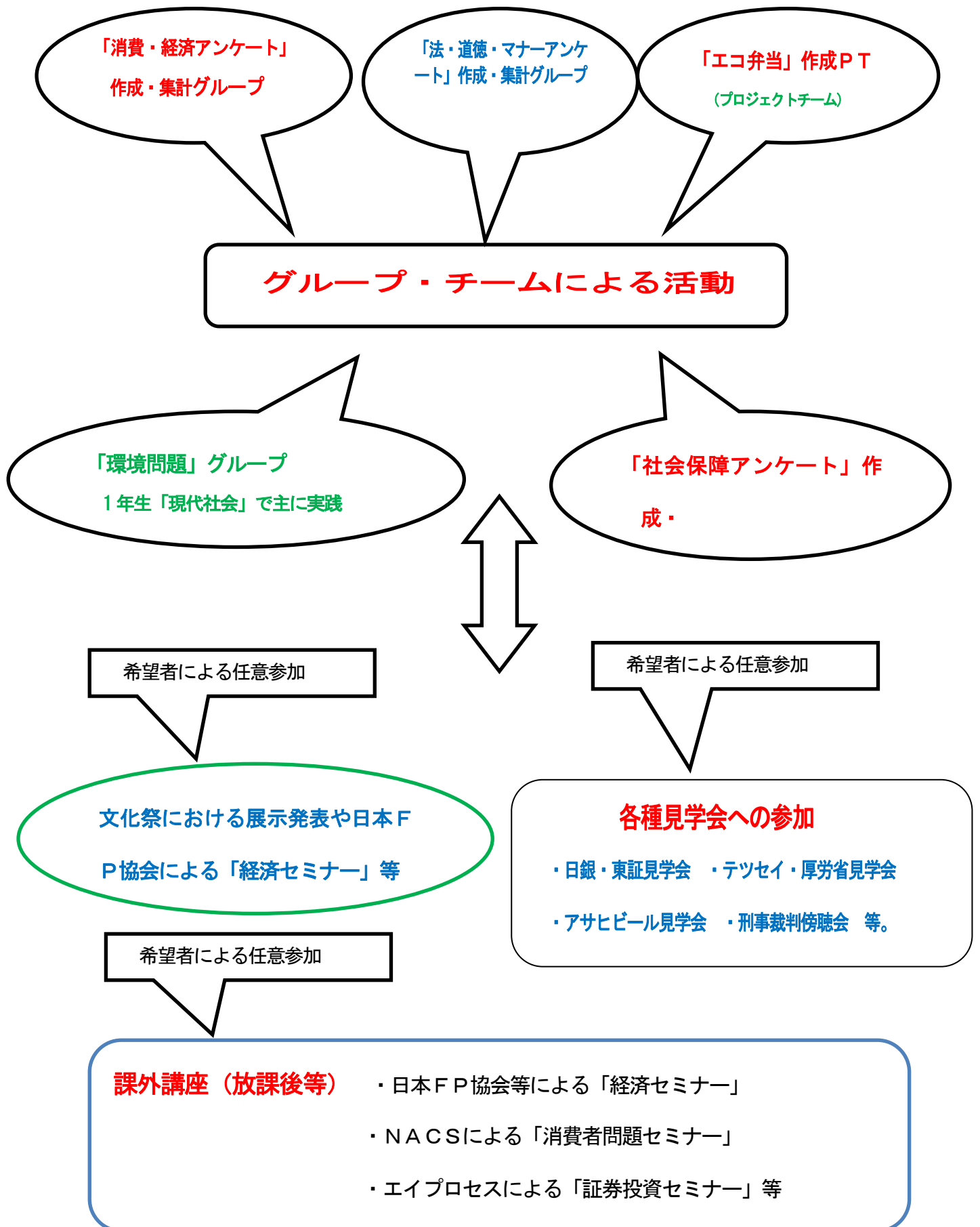
(1) 消費・経済研究会 (海老高「ファイナンス・クラブ」) とは・・・

経済や「消費者問題」などに興味や関心があるものの部活動に加入しているため他の活動は無理！という生徒や、もう少し現実の経済にアプローチしたい、できれば金融についてもっと勉強してみたいという海老高生のための学習活動のサークル(クラブ)として、部活動でもなくまた同好会でもない「緩やかなサークル」として、平成18年(6月)に有志生徒を中心に『消費・経済研究会(海老高「ファイナンス・クラブ」)』を発足させました。当初は高校生の消費・金融・経済知識の定着と応用力・活用力のアップを目標に、少数メンバー(数十名程度)によって発足したこのサークルも、平成26年度は1年生～3年生まで約360名の海老高生が入会しています。この「ファイナンス・クラブ」の活動は、主に1年生が中心になりますが(2年生は部活動や修学旅行等で、また3年生は受験準備等で)、各種の見学会等への参加や、本校の文化祭である臈月祭での展示発表、また各種の行事にも積極的に参加・出場しています。

なお、このサークル活動の指導に際しては、あくまでも全日制普通科の教育活動であること、また「公民科」の学習内容を踏まえた活動であること、さらに「総合的な学習の時間」などとも連携した活動であることです。さらにまた今日、「シチズンシップ」教育の重要性が指摘されていることも重視し、「経済教育」や「消費者教育」はもちろんのこと、「環境教育」や「キャリア教育」、そして「道徳教育」、さらに「政治参加」や「法教育(司法参加)」の視点からもアプローチすることも指導のスタンスとし、生徒が興味・関心をもって実践できる身近なサークル活動を心がけています。今後もこのような指導方針のもと、生徒の積極的な活動を継続し拡充できれば幸いです。



(2) サークル活動の体制 (各PT・グループ) についての概観・・・



(3) 平成26年度の「ファイナンス・クラブ」活動概要

[消費・経済 学習活動]

[環境(エコプロ) 学習活動] (ブース出展)

●主にファイナンスクラブの活動として

●「総合的な学習の時間」、教科「現代社会」と連携

- 「消費・経済・環境」アンケートの作成(6月～)。7月～9月1次集計。
- 県・消費生活課発行の『くらしのジャーナル』を活用し、レポート・討論実施。(クラス・FC等)
- 「ハイスクール議会」(8月)にメンバーが参加。県庁・県議会場で開催される。
- 夏期法教育講座「サマースクール2014」(8月)横浜弁護士会主催へ参加。別に「刑事裁判傍聴会実施」、延べ2日。
- 高校生のための「経営学実践講座」(専修大学・モスフード共催)(8月)に参加。
- アサヒビール神奈川工場見学会、県環境計画課のサポートによる、8月。
- 「経済・消費、調べ学習」(夏季課題)の「文化祭」(9月)での掲示発表。
- 「法に関する作文」コンクール(横浜弁護士会主催)にメンバーの他、1年生が応募。※高校生の部、最優秀賞1名、優秀賞2名。
- 『消費者被害未然防止キャンペーン』(横浜)にメンバーが参加。(10月)
- 「消費・経済・環境アンケート」2次集計
- 県「消費者教育シンポジウム」で活動報告の発表をする。3年生5人参加する。
- 県「情報議会」へメンバー2人参加する(11月～)
- 「ケーザイの3つの扉」(日本証券業協会)DVD作成協力をする。
- 「エコノミクス甲子園」神奈川大会へ参加。(横浜銀行主催・金融知力普及協会共催)12月。
- 日本銀行・東京証券取引所・見学会(平成27年1月6日)

26年度
ファイナンス・クラブ
活動概要

- 「文化祭」(9月)、保護者・来場者に対して前回の「エコプロ」の実施報告を展示。
- ファイナンス・クラブ「エコ弁当」PTが担当
- 「エコ弁当」づくり開始・・・10月開始・・・ファイナンス・クラブ・「エコ弁当」PT(プロジェクトチーム)、(株)NACS・(株)日東ベスト「爽健亭」さんのアドバイスのもと。
- 『社会・環境報告書』や『サステイナビリティ報告書』を活用、企業の社会的貢献・「CSR」や環境対策について「調べ学習」。
- 『エコプロダクツ14』・事前授業を実施(11月中旬)。トヨタ、イオン、花王、丸井等、企業10社来校。1年生の総合的な学習の時間で(NACSによる)。
- 『エコプロダクツ2014』
東京ビッグサイト・26年12月11日～13日、「エコ弁当」『CSR報告書』、総合学習の「環境レポート」等も展示発表。(海老高ブースで、延べ30名のFCメンバーが来場者対応、そしてプレゼン担当。)※12月11日、本校1年生全員と、本校PTA研修会として、会員約50名の方々も会場を見学。